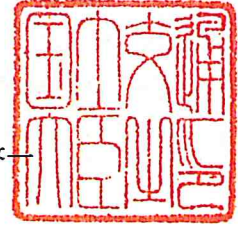


# 認 定 書

国住指第 2597 号  
平成 27 年 12 月 9 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役社長 高下 貞二 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

PS060FL-0830

2. 認定をした構造方法等の名称

硬質ポリ塩化ビニル管／ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

硬質ポリ塩化ビニル管／ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ311mm以下)
	面積	0.076m <sup>2</sup> 以下
占積率		69.6%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート造 厚さ200mm以上

## 3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目	仕 様		
熱膨張性シート	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布・黒鉛含有エポキシ樹脂シート・アルミニウムはく張ガラスクロス	
	寸法	総厚5.0(±0.50)mm以上 ただし、 2周巻き(複層)の場合、製品厚さ2.5(±0.25)mm以上 1周巻き(単層)の場合、製品厚さ5.0(±0.50)mm以上 幅78mm以上	
	形状	シート状(分割：あり又はなし)	
	使用方法	2周巻き(複層)又は1周巻き(単層)	
	基材1	材料	アルミニウムはく張ガラスクロス
		厚さ	0.17(±0.08)mm
	シート	材料	黒鉛含有エポキシ樹脂シート
		厚さ	2.15(±0.22)mm以上
		組成(質量%)	組成は企業秘密とさせていただきます
	基材2 (配管側)	材料	ポリエチレンテレフタレート不織布
厚さ		0.18(±0.06)mm	
充てん材	材料	セメントモルタル	
	組成(質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75 (日本建築学会建築工事標準仕様書 JASS 15 左官工事に準拠)	
	使用量	隙間を密に充てん(充てん厚さ200mm以上)	

表3 配管の仕様

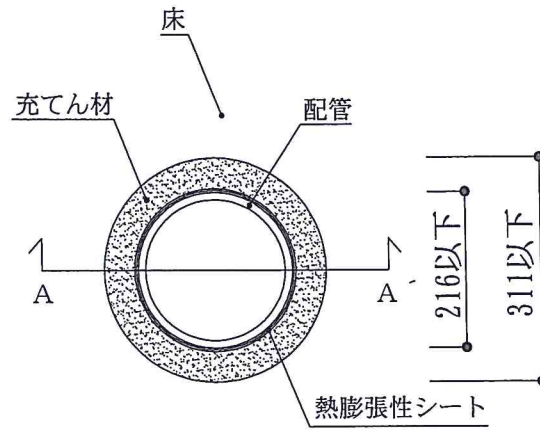
項目	仕様	
配管	材料	硬質ポリ塩化ビニル管 種類：①、②又は③ ①硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6741、記号：VP) ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6742、記号：VP、HIVP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K 6776、記号：HT)
	外径	φ 216 (±0.65) mm以下 (呼び径200以下)
	厚さ	11.3 (±1.13) mm以下

4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

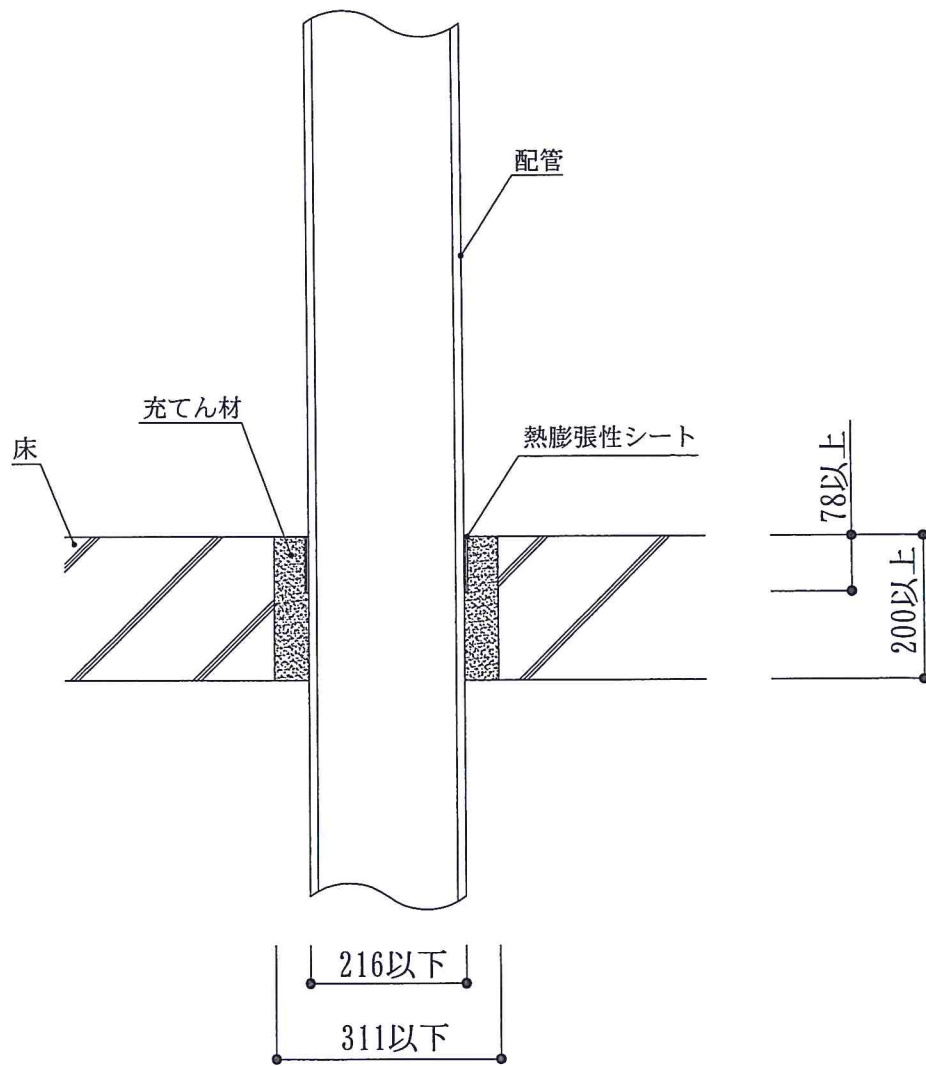
表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
粘着テープ (熱膨張性シート 固定用)	材料	あり又はなし、ありの場合①、②又は③ ①合成樹脂系テープ (粘着層付) ②紙系テープ (粘着層付) ③アルミニウムテープ (粘着層付)
	厚さ	0.4mm以下
	使用方法	必要に応じて、熱膨張性シート端部の貼り付け・貼り合わせに使用

5. 構造説明図：  
構造説明図を図1に示す。



平面図



A-A' 断面図

図1 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法(配管の断面積及び種類等)、占積率、床の構造、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シートの墨出し

配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。

(3) 熱膨張性シートの巻付け

a) 2周巻き付ける場合(複層)：

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを2周巻き付ける。熱膨張性シートは、巻き付け長さに応じて1周目を2分割以下、2周目を2分割以下とすることができる。熱膨張性シート巻付けの際、端と端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。また必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いても良い。

b) 1周巻き付ける場合(単層)：

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを1周巻き付ける。熱膨張性シートは、巻き付け長さに応じて2分割以下とすることができる。熱膨張性シート巻付けの際、端と端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。また必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いても良い。

(4) 熱膨張性シートの巻付け状態の確認

熱膨張性シートが隙間なく巻き付けられていることを確認する。

(5) 開口部の埋め戻し

配管を所定の位置に設置し、隙間を充てん材(セメントモルタル)で密に充てんする。